

2026年3月31日

## お米支援活動 現場レポート

株式会社ヤオコーでは、2020年9月、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス株式会社のご協力のもと、埼玉県内で生活にお困りの子育て世帯を対象としたお米の支援を開始しました。その後、2021年3月に「一般財団法人ヤオコー子ども支援財団」を設立し、同年9月より本財団がこのお米支援の活動を引き継いでいます。さらに、2023年3月には公益財団法人へ移行し、現在は公益財団法人ヤオコー子ども支援財団が主体となって、毎月1回、埼玉県福祉部子ども支援課を通じて、NPO法人埼玉フードパントリーネットワークおよび一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワークのご協力のもと、県内各地のフードパントリーや子ども食堂へお米をお届けしています。物流拠点での荷受けや仕分け、配送、現地での配布まで、多くの関係者が連携しながら現場で支援活動が行われています。また、2025年5月からは、一部メーカー様のご協力により、賞味期限間近の商品をご提供いただき、お米支援とあわせてお届けする取り組みも始まりました。現場の状況に応じて工夫を重ねながら、支援の幅を広げています。

※2026年より4\*<sub>10</sub>×250袋

お米の支援		配布エリア	個数	* <sub>10</sub> 数	子ども食堂	フードパントリー	配布団体の合計
53	2026年1月	三芳町	250	1,000	19	11	30
54	2026年2月	川口市	250	1,000	28	11	39
55	2026年3月	越谷市	250	1,000	18	11	29



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

---

## 2026年1月 三芳町エリア 250袋 1,000kg



1月は三芳町の上板塑性様の駐車場をお借りして荷卸し・仕分けを行い、埼玉県内の子ども食堂・フードパントリーへ支援物資をお届けいたしました。賞味期限間近商品のご提供は合計442個です。

本来であれば流通が難しい食品を、「必要としている子どもたちへ」との思いでご提供くださったことに、深く感謝しております。現場では、埼玉県子ども食堂ネットワーク代表の東海林様の管轄エリアとして丁寧に分配を進めました。仕分けの際には「子どもたちが喜ぶ顔が浮かびます」「こうしたお菓子は本当にありがたいです」といった声があがり、温かい空気に包まれました。

ご提供いただいた一つひとつが、物価高のなかで厳しい状況にあるご家庭にとって、大きな支えとなっています。なお、賞味期限が近い商品につきましては、万が一の際にも迅速に対応できるよう、利用者様と直接連絡が可能なフードパントリーへお渡しする体制を整えております。

日々の業務のなかで、こうした社会的意義ある取り組みにお力をお貸しくださっていることに、あらためて敬意と感謝を申し上げます。

---



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

---

## 2026年2月 川口エリア 250袋 1,000kg



当日は、中間拠点リーダーを中心に、地域ボランティアの皆さまとともに迅速かつ安全に仕分け・搬出を行いました。ご提供いただいた商品は、必要とされるご家庭へ丁寧にお渡ししております。「子どもがとても喜びます」「普段なかなか買えないのでありがたいです」といった声も届いております。なお、賞味期限が近い商品につきましては、万が一の際にも速やかに対応できるよう、利用者様と直接連絡が可能なフードパントリーへお渡しする体制を整えております。食品ロス削減と子ども支援の両立につながる貴重なご協力に、心より感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

---



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

## 2026年3月 越谷エリア 250袋 1,000kg



今年度最後のお米支援も、盛沢山の内容でお届けすることができました。小雨が降る中、気温8℃という中で、お米支援を実施しました。今回の支援では、お米 4kg×250袋（合計1トン）をはじめ、麒麟ビバレッジ様からは「おいしい免疫ケア」3,000本、小川貿易のスパゲッティなど、日々の食事に役立つ食品を多数お届けしました。また、企業の皆様からご提供いただいた賞味期限間近の食品も活用し、お菓子やカレー、タコライスの素、せんべいなど合計643点を支援に加えることができました。こうした食品は、すぐに食卓に並べることができる大切な支えとなります。多くの企業の皆様のご協力により、今回も充実した支援をお届けすることができました。心より感謝申し上げます。今後も、必要な方へ必要なタイミングで「食」をお届けする支援を続けてまいります。